

学校支援地域本部事業事業実践現場訪問 【大崎市・松山地区学校支援地域本部】

専門的な知識・技能の習得【柔道】 大崎市立松山中学校

1 実施日 平成22年11月25日(木)

2 場 所 大崎市立松山中学校

3 松山中学校を訪問して

今回訪問した松山中学校では、1年生選択体育の学習で「柔道」の授業がありました。松山中学校では、「柔道」が1年生から3年生の体育の選択授業にあります。この授業で支援を行っているのは、柔道に精通した地元の学校支援ボランティアの方です。1年生の授業支援を行っており、「柔道の基礎・基本を学ぶ1年生の授業が重要であり、1年生に柔道の達人からしっかりした動きや心構えを学ばせたい。」と担当の先生から話がありました。授業は2時間続きの5・6時間目にあたり、ボランティアの掛け声に合わせて、生徒たちが一つ一つの動きを確認しながら二人一組で投げと受身の練習を行いました。時々、ボランティアから気合の入った掛け声が投げかけられる緊張感のある授業でした。柔道はちょっとした気の緩みが大きな怪我につながるので、ボランティアも真剣に生徒に向き合っている姿が見られました。

羽賀教頭先生から、「地域の方の指導に生徒も真剣に取り組み、上達も早い。」「柔道以外の授業や、校地内の植木の同定(※)などに支援をいただいております。大変ありがたく思っている。」と話がありました。

大崎市では、松山地区で学校支援地域本部事業の取組を行っています。

※「同定」とは、生物の分類上の所属や種名を決定すること。

【取組の様子】



授業はじめのあいさつ



準備運動は、ボランティアの方が柔道で傷めやすい部分を念入りほぐしました。



新しい動きに入るときは、全員を呼び集めていないに技の説明をしていました。生徒のみなさんは真剣に話を聞いていました。